














David Moreau / S.C.E.A Jean Moreau

ダヴィッド・モロー



サントネのピノ・ノワールのイメージを覆すほどの力量を持つドメーヌ。1984年生まれのダヴィッド・モローは、若くして叡智に輝き常に前進している。2009年に祖父の畑を受け継ぎ、ドメーヌをスタート。すでにディジョンのブルゴーニュ大学でエノログ資格を取得していた。ボーカステル、ユベール・ラミー、DRCのほか、ニュージーランドでも経験を積んでいる。栽培はリュット・レゾネではあるが、「より自然な畑に戻すことが自分たちの使命」と語り、ダヴィッドなりに納得のいく栽培方法を模索中。サントネに所有する三つのブルミエ・クリュのうち二つは1964年植樹、マランジュは1943年と47年植樹の貴重な古木のみ。醸造初期には6日前後、13℃前後の低温浸漬を経て、バリックの新樽を1/3ほど使用するが、不自然に造り込まれたトーンは皆無。ヴィンテッジによりサントネの1級が、上質なシャンボール・ミュジニーカモレ・サン・ドニの1級を思わせる、純粋で洗練され、きめ細かな質感と優美なニュアンスを帯びることは、この造り手では珍しくない。2014年VT以降の毎年の品質向上は特に目覚ましい。

		○Bourgogne - Aligoté ブルゴーニュ アリゴテ		備考
畑	品種：アリゴテ100% 植樹：1999年 位置：斜面の麓 土壌：沖積土	醸造	ステンレスタンクで醸酵 ステンレスタンクと古樽で12カ月熟成	
		○Santenay Blanc サントネ・ブラン		備考
畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1965年 位置：標高219m、南東向き 土壌：石灰質粘土	醸造	ステンレスタンクで醸酵 ステンレスタンクと古樽で12カ月熟成	
		○Santenay 1er Cru - Beaurepaire サントネ・ブルミエ・クリュ ボールペール		備考
畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1991年・1998年 位置：標高270m、南向き 土壌：小石で覆われた、ジュラ紀(オックスフォード階)の泥炭岩	醸造	ステンレスタンクで醸酵 ステンレスタンクと古樽で12カ月熟成	
		○Meursault - Les Pellans ムルソー レ・ペラン		備考
畑	品種：シャルドネ100% 植樹：1950年頃 位置：南東向きの斜面の麓 土壌：白泥灰岩	醸造	12時間をかけて全房プレス。3週間の発酵後、20%を300Lの木樽で、80%をタンクで12ヶ月間熟成	
		●Bourgogne Pinot Noir ブルゴーニュ ピノ・ノワール		備考
畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1976~1977年 位置：標高250m、西向き 土壌：石灰質泥灰岩	醸造	発酵初期に低温(12-15℃)で7日間のマセレーション タンクで11ヶ月の熟成	
		●Cote de Beaune Villages コート・ド・ボーン・ヴィラージュ		備考
畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1964年、1985年 位置：標高220~225m、南東向き 土壌：石灰質	醸造	15%を228L新樽、85%を228Lの旧樽で12ヶ月、タンクで4カ月の熟成	

 <small>GRAND VIN DE BOURGOGNE</small> DAVID MOREAU MARANGES	●Maranges Rouge マランジュ・ルージュ		備考 コート・ド・ボーヌの中で最南の地区ではあるが、隣接するサントネと比べても、中庸なミディアムボディの赤。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1943年、1947年 位置：標高250～270m、南東向き 土壌：粘土質、砂質、石灰質粘土	
 <small>GRAND VIN DE BOURGOGNE</small> DAVID MOREAU SANTENAY <i>Cuvée S</i>	●Santenay - Cuvée S サントネ キュヴェ・एस		備考 ダヴィッドの祖父が最初に手に入れた、レ・コルニエールと呼ばれる区画。キュヴェ名の“S”は祖母のシモーヌの頭文字にちなんでいる。ミルランダージュ（結実不良）が多く、収量も多くはない畑だけれど、ダヴィッドの思い入れの強い畑の一つ。結実不良のため種の無い果実の比率が多いので、タンニンはスムーズで、果実味が前面に出ている。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1965年 位置：標高255m、南東向き 土壌：村の中心のやせた土地	
 <small>GRAND VIN DE BOURGOGNE</small> DAVID MOREAU SANTENAY <i>Les Hâtes</i> <i>1er Cru</i>	●Santenay - Les Hâtes サントネ レ・アット		備考 1級畑ではないが、クロ・デ・ムーシュに隣接する畑で、真南向きのどんなに涼しい年でもしっかりと果実の熟す畑。 ちなみに、キュヴェ名のHはリエゾンをしていないので、レ・アットが正しい発音だそうです。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1966-67年 位置：標高239m、真南向き 土壌：崩積土、泥灰土壌	
 <small>GRAND VIN DE BOURGOGNE</small> DAVID MOREAU SANTENAY <i>Beaurepaire</i> <i>1er Cru</i>	●Santenay 1er Cru - Beaurepaire サントネ・ブルミエ・クリュ ボールペール		備考 サントネ地区のほぼ中心に位置する、比較的急斜面の畑で、南向きの区画も多く、果実も良く熟す。岩がちな土壌で、排水も良い。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1990年・1991年 位置：斜面の中腹、南向き 土壌：固い泥灰地層	
 <small>GRAND VIN DE BOURGOGNE</small> DAVID MOREAU SANTENAY <i>Beauregard</i> <i>1er Cru</i>	●Santenay 1er Cru - Beauregard サントネ・ブルミエ・クリュ ボールガール		備考 Beau=良い、regard=景色、の名の通り小高い丘の上の区画で、サントネとシャサーニュの村を一望できる。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1980年 位置：312m、南東向き 土壌：泥灰土、粘土石灰土壌	
 <small>GRAND VIN DE BOURGOGNE</small> DAVID MOREAU SANTENAY <i>Clos Rousseau</i> <i>1er Cru</i>	●Santenay 1er Cru - Clos Rousseau サントネ・ブルミエ・クリュ クロ・ルソー		備考 サントネ地区の中でも最も南に位置する、
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1964年 位置：標高265m、南向き 土壌：酸化鉄を含んだやせた土地、石灰岩	
 <small>GRAND VIN DE BOURGOGNE</small> DAVID MOREAU SANTENAY <i>Clos des Mouches</i> <i>1er Cru</i>	●Santenay 1er Cru - Clos des Mouches サントネ・ブルミエ・クリュ クロ・デ・ムーシュ		備考 畑の名前は、このエリアの花から花粉を集める数千もの蜂（Mouches à Miel = ミツバチ）に由来。表土の非常に少ない畑。ボーヌの同名の畑に比べて、評価はされてはいないが、表土が薄く、優れた骨格を持つワインが出来る。
	畑	品種：ピノ・ノワール100% 植樹：1964年 位置：標高265m、南東向き 土壌：板状の石灰質基盤、わずか数センチの深さ	